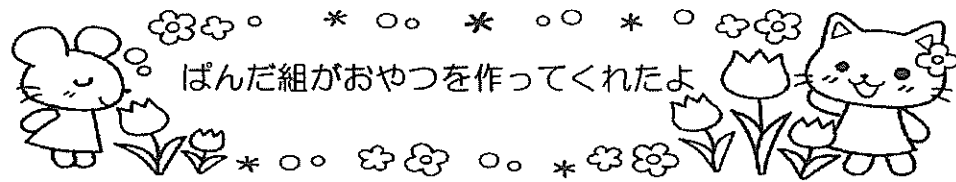


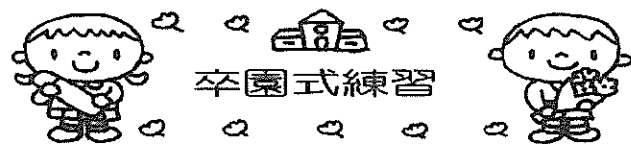
3月も下旬となり毎日卒園式の練習に頑張っています。子ども達が卒園証書を受け取る姿を練習で見る度に、「もうすぐお別れなんだな」と少し寂しい気持ちにもなり、「立派に成長したな」と嬉しくもあります。あと残り少ない園生活をみんなで楽しく過ごしていきたいと思います。

かばん制作

卒園記念制作で布かばんを作りました。裁断した布の端を巻いてボンドで貼り付けかばんの形を作りました。そして模様はフェルトを切って作りました。フェルトは紙のように切れず「切れん」と諦めてしまう子もいましたが、切り方を教えていくと自分で切れるようになりました。それぞれに思い思いの模様でかばんを飾り素敵なかばんが出来上がりました。卒園式の日飾りしますので楽しみにしておいてください。

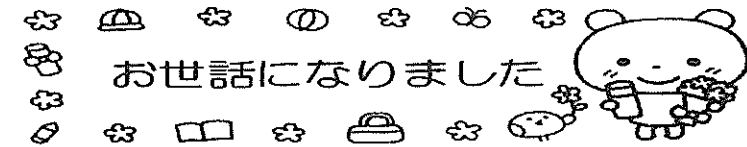


3月17日にぱんだ組が感謝の気持ちを込めてきりん組にワッフルを作ってくれました。前日には招待状を持ってきてくれて子ども達には当日まで何を作るか内緒でした。みんな「何を作ってくれるのかな？」と想像をふくらませていました。そして当日用意が出来て部屋にはいると紙皿に女の子はうさぎの耳、男の子は熊・狸の耳がついていて、そこに名前が書いてありました。手作りのワッフルはぱんだ組の感謝の気持ちが詰まっておいしかったです。おいしすぎて「おかわりないん」と聞くお友達もいました。最後にはぱんだ組との良い思い出作りが出来ました。



2月の中旬に合奏の曲を伝えてから、自分達でやりたい楽器を友達同士で話したり私に「何の楽器があるん?」「何人するん?」と楽しみで仕方なかったようです。曲はみんなが知っ

ている歌、忍たま乱太郎の「勇気100%」です。練習では歌を口ずさみながらリズム打ちをしていました。リズムが間違っていると教え合いながら自分達でがんばっていました。みんなで合わせると、自分がどこをやっているか解らなくなってしまうたり、リズムが早くなったりと合わなかったりしましたが、練習を重ねる度にだんだん合うようになってきて、子ども達もそれぞれに自信をつけてました。そして3月の全体練習では人前で発表するのが初めてだったので、緊張からか声は小さく上手とは言えませんが、練習を重ねるごとに声も大きくなってきて、褒められるまでになりました。卒園式にはお父さんやお母さんの前で堂々とした姿で発表できるように残りの練習を頑張りたいです。



4月にきりん組の担任となりこのクラスをもつのが初めてだったので「大丈夫かな」と不安の方が大きかったのを覚えています。最初は環境も変わり子ども達も様子をうかがっていたようで、とても大人しく少し違和感すら感じるほどでした。でもそれも2、3日もすればそれぞれに個性も出てきてケンカになったり、調子に乗りすぎて注意されることが多くなりました。また面白い事が好きで一人がお笑い芸人の真似をすると、それに続きみんなも真似して大笑いする笑顔の絶えない子ども達に、いつしか私も引き込まれていき毎日が笑顔でいっぱいの日々でした。またとても頑張りやさんが多く、「友達が出来るなら僕にだって私にだって出来る」という気持ちで保育園でも家でも練習をする子が多く、その頑張りが実り出来るようになったと嬉しそうに披露してくれました。でも中には苦手意識が強く自分は出来ないとする前から諦めてしまう子もいました。しかし「出来なくてもいいからチャレンジすることの大切さ」を伝えてきました。そのうち子ども同士で跳び箱や縄跳びなどをする時には、「出来なくてもいいから挑戦する事が大切なんやで」と励まし合いながら練習に取り組む姿が見られました。そして集団遊びが大好きで外に行くと「手つなぎ鬼する人この指止まれ」と友達を集めて鬼決めジャンケンが始まり「いやー鬼が来た」と一生懸命に走る姿やリレーをして自分のチームが勝つまで「もう一回やろ！もう一回やろ！」とみんなで一つの遊びを楽しむことができました。また最後になりましたがこの一年で保護者の方と一緒に子ども達の成長を共に感じ喜びることが出来てとても幸せな毎日でした。そして私の日々の保育の中で至らない点も多々あったと思いますが温かい目で見守り、ご協力頂きありがとうございました。また子ども達にはこれからの小学校生活の中でたくさんを経験して一回りも二回りも成長してくれることを願っています。

